

## がん患者さんのための『もっと知ってほしい 胃がんのこと』 がん診療連携拠点病院 409 施設のがん患者相談窓口などに配布

特定非営利活動法人キャンサーネットジャパンは、日本イーライリリー株式会社の制作支援、株式会社毎日放送、朝日新聞の医療サイトアピタル、日本胃癌学会、セコム損害保険株式会社の協力のもと、胃がんについて科学的根拠に基づいた正しい情報を提供することを目的に、『もっと知ってほしい 胃がんのこと』の冊子を製作しました。今後、全国がん診療連携拠点病院の患者相談窓口409箇所に送付するとともに、各団体・企業などが実施するセミナー等でも配布いたします。

また、がん医療情報サイト「キャンサーチャンネル」(URL: <http://www.cancerchannel.jp/>) や、キャンサーネットジャパン、日本イーライリリー株式会社、株式会社毎日放送のホームページなどからもダウンロードできます。

胃がんは、罹患者数が年間12万人を超え、男女合わせると全てのがんの中で最も多いがんです。また近年の医療の進歩により、胃がん治療においても新たな知見が出てきています。

『もっと知ってほしい胃がんのこと』は、兵庫医科大学上部消化管外科 主任教授 笹子 三津留先生、静岡県立静岡がんセンター胃外科部長 寺島 雅典先生、聖マリアンナ医科大学 腫瘍内科教授 朴 成和先生の監修のもと、胃がんの概要をはじめ、検査や標準的な治療、副作用などについて、患者さんやご家族、患者さんを支援される方が知っておきたい情報を、24ページにまとめています。また冊子には、胃がん患者さんの体験談を“Patients Voice (患者の声)”として掲載しています。



『もっと知ってほしい 胃がんのこと』の制作にあたり、米国で患者・家族に広く利用されているNCI (National Cancer Institute) 発刊の冊子などを参考に患者・家族が納得して意思決定し、自分らしくがん向き合えるように、そして自らの病気や治療法を知り、学ぶことができるものを目指しました。この「もっと知ってほしいシリーズ冊子」は全国のがん診療連携拠点病院での設置率も約70%<sup>1</sup>と、多くの方に利用していただけるようになりました。私たちの冊子が、今まさに治療と向き合っている方々の一助となることを願っています。

### 特定非営利活動法人キャンサーネットジャパン

理事長：岩瀬哲 (東京大学医科学研究所附属病院緩和医療科 特任講師)。

1991年二人の医師により、米国における乳がん患者向け冊子を翻訳・出版・無償配布した事に始まります。その後、各種がん患者向け書籍の出版、NCI キャンサーファックスの翻訳提供 (現在終了)、NCI PDQの翻訳 Web 公開 (現在更新終了)、電話・手紙・メール・ファックスでの「セカンドオピニオンコール」等のサービスを提供してきました。2002年には、東京都よりNPO法人格を取得し、同年、キャンサーネットジャパンホームページが日経インターネットアワードを受賞しました。2007年1月からは組織を一新し、専用事務局を開設し、がん医療の啓発イベントの開催、教育事業、市民へのがん啓発活動を行っています。詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.cancernet.jp/>

<sup>1</sup> キャンサーネットジャパン 2013年 がん診療連携拠点病院アンケート調査より

【冊子に関するお問い合わせ先】

NPO 法人キャンサーネットジャパン

Tel. 03-5840-6072 / Fax. 03-5840-6073